

令和4(2022)年度

一橋大学入学者選抜要項



一橋大学

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

【重要】

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、本要項に記載されている「一般選抜」及び各特別選抜の試験期日や選抜方法等を変更することがあります。

変更することを決定した場合は、直ちに本学ウェブサイトに掲載しますので、必ず確認してください。

目次

1	各学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)	1
2	学部・学科	3
3	入学定員	4
4	出願資格	5
5	障害等のある入学志願者の事前相談について	6
6	入学者選抜方法等	
	(1) 一般選抜	8
	(2) 学校推薦型選抜等	8
7	今年度以降の入学者選抜に係る予告事項	9
8	新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等	9
	【前期日程】	
9-1	入学者選抜の実施教科・科目等について(前期日程)	12
9-2	入学者選抜日程等について(前期日程)	13
	【後期日程】	
10-1	入学者選抜の実施教科・科目等について(後期日程)	15
10-2	入学者選抜日程等について(後期日程)	16
11	学校推薦型選抜	17
12	外国学校出身者選抜	26
13	私費外国人留学生選抜	28
14	学生募集要項について	31

1 各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 商学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学商学部は、企業や市場に関連した現象に対して進んで関心を持ち、それを深く観察することで解決すべき問題を設定し、社会科学的思想・理論と現実が生じる事象との往復運動を繰り返しながら問題に対する創造的な解を導き、さらにリーダーシップを発揮してそれを実行に移せる人材の育成を使命としています。そのために、商学部に入学者は、経営学、会計学、金融論、マーケティングといった領域を中心として、「企業や市場に関連する応用社会科学」を、少人数のゼミナールにおけるきめ細かな指導と、基礎から応用へと着実に展開する段階的なカリキュラムを通じて、学んでいきます。

入学後に学習を効果的に進めるためには、社会全般に対して高い関心をもっていることが重要です。企業や市場に限らず、様々な社会的問題に対する関心を抱くことは、自ら課題を見つけ、主体的に学んで、解決策を導こうとする意欲の源泉になるからです。

また、企業や市場に関連する応用社会科学を理論的に深く理解し、社会事象を実証的に分析するためには、高度な数理的・論理的能力が必要となります。さらに、国際社会で活躍するためには、外国語によるコミュニケーション能力だけでなく一般的な言語能力が不可欠です。高等学校までの学習において、これらの基礎を身につけておくことにより、商学部での学びはより充実したものとなるでしょう。このような方針に基づいて、商学部の入試は実施されています。

商学部では学校推薦型選抜も行っており、特定の分野に特に秀でている者に対して門戸を開いています。学校推薦型選抜では、大学入学共通テストで一定以上の成績を求めるとともに、第2次試験で小論文と面接を実施して、多面的な評価を行っています。さらに、私費外国人留学生選抜を実施して、世界各国の留学生を積極的に受け入れています。

(2) 経済学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学経済学部は、経済学とその関連分野における専門的な知見と、豊かな教養に支えられた幅広い視野を持ち、的確な現実感覚と創造性を備え、自ら考える力を持って課題の発見と解決に努め、日本語と英語の両方で優れたコミュニケーション能力を持ち、ビジネス・公共政策・学術研究等の現場で活躍するリーダーとなりうる人材の育成を目指しています。

経済活動や経済現象の全体は複雑であり、その分析には、様々な科学的推論が必要となります。そのために、経済学は数学を必要とします。こうした観点から、本学部は、前期日程入試で数学を課すとともに、本学の中で唯一、数学Ⅲの選択問題を含む後期日程入試を継続しています。他方で、経済学は人間と社会を対象とする社会科学であり、解決すべき問題は時代の文脈に従って変化します。このため、経済学の知識とともに、問題の背後を理解するため、歴史的及び地理学的視点も必要とされます。また、経済のグローバル化に伴い、英語によるコミュニケーション能力はますます重要になっています。

以上のことから、本学部では、以下のような能力を備えた学生を受け入れたいと考えています。

- ①英語による講義を受講できる双方向の外国語能力、
- ②経済学を理解するための数学力、
- ③双方向コミュニケーションのための日本語能力、
- ④経済現象を幅広い視野と多角的見地から分析できる解析力、
- ⑤幅広い一般的知識とそれを深化させうる理解力。

また、多様で個性豊かな人材を社会に送り出すことの重要性に鑑み、経済学部は、特定の分野で特に優れている者を積極的に受け入れています。このため、一定の学力水準を前提として、面接と小論文による多面的評価を行う学校推薦型選抜を実施しています。さらに、外国学校出身者や海外からの留学生にも、一定の日本語能力を前提として、面接や小論文による選考を通じて門戸を開いています。

(3) 法学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学法学部は、一橋大学のリベラルな学風の下で、豊かな人権感覚と社会的公共性に裏打ちされた法学の専門的素養と国際的洞察力を兼ね備える人材を育成することを目標としています。

本学部は、社会問題への関心が高く、論理的思考力、言語能力に優れた意欲的な学生を求めています。

実社会で生じる問題を多く扱う法学と国際関係の学習には、学生にとっては必ずしも身近とはいえない事象も含め、様々な社会事象に広く関心をもつことが必要です。日々報道される社会問題に関心を向け、広く情報収集をはかって知見を広め、自ら理解を深めようとする姿勢が重要です。現在進行中の社会問題だけでなく、日本と世界の歴史から学ぶことも多いはずで

論理的に思考し明晰な言葉で表現する力の鍛錬は、法学部のカリキュラム全体を通じてはかられるところですが、基礎的な能力は入学時にも求められます。論説文の読解や数学的思考の訓練は、論理的思考力・表現力の涵養につながるものと思われ

最後に、本学部で習得することのできる知識や能力の前提条件として、高い言語能力は必要不可欠です。ここでいう言語能力には、外国語だけでなく、日本語の理解力・表現力も含まれます。入学後には、ゼミナール等で、主体性を持って教員や他の学生との議論に参加し、協働して学ぶことがカリキュラムを全うし、学位を取得するためには必須となるため、相手の考えを適切に理解し、自らの考えを相手に伝えるように的確に表現することが重要です。そのため、日本語については、入学の時点で、様々な文章の論旨を正確に把握する能力及び比較的長い論理的文章を作成する能力を有していることが求められます。また、優れた国際的感覚を身につける前提として、英語を中心とする外国語でのコミュニケーション能力も重要です。入学時には、英語による文書の高い理解力と表現力が求められますが、この能力は、他の外国語を習得する際の基礎学力にもなります。グローバル化の進展のなかで、国内の実定法を専門的に学ぶことを企図する学生や法律専門職を志す学生にも、外国語の基礎学力は欠かせません。これらの能力は、多様化、グローバル化が進む世界の中で、立場や考えを異にする人々と交わり活躍してゆくための基盤となるものです。

(4) 社会学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学社会学部は、社会科学ならびに人文科学の専門的・総合的な教授を通じて、現代社会の諸問題を多角的・批判的に分析し豊かな構想力をもって実践的に解決する人材の育成を目指します。

この目的の実現のために社会学部が用意するカリキュラムは、様々な学問分野（社会学・社会調査、国際社会学、哲学・思想、言語文化、社会心理学、人類学、地理学、教育学、政治学、スポーツ社会学、社会政策、歴史学、ジェンダー研究、等々）を専門的に、分野横断的に学修できるよう作られています。また、社会学部生活後半の中核となる後期ゼミナールでは、指導教員のもと、少人数の仲間たちとともに対象を見つめ、意見を交わし、材料を分析・考察し、協同的に思考を重ねながら、学修を深化・高度化させていきます。

学生たちのこのような学修を推進するにあたって、社会学部が重視していることがふたつあります。「問題を多面的に把握する」と「社会が直面する課題に関心をもつ」ことです。

1 現実・問題を多面的に把握する

問題には様々な面があること、そうした多面性は捉え方次第でいっそう際立ったものになること、それはまた自分自身が当たり前だとしてきた前提の問い直しにもつながること・・・社会学部の学生たちはこういった理解体験を重ね、いっそうの学修の必要を感じ、それぞれの取り組みにますます注力していきます。社会学部で学ぼうとする方々には、まずこのような「問題を多面的に把握する」姿勢をもっていただきたいと思います。カリキュラムに用意されるたくさんの選択肢はそうした姿勢を養うためのものです。時に矛盾・衝突しあう知識を、様々な学問分野に求め、それらに依りながら問題を相対的・多面的に比較検討し、考察と判断を重ねてひとつの結論へと編み上げていく、そのような知力を獲得していただきたいと思います。

2 社会が直面する課題に関心をもつ

現代社会は様々な課題に直面しています。メディアで、ネットで、人びとの間で、いろいろな形で言及されてもいるそれらに対して、社会学部で学ぼうとする方々、学ぶ学生たちには、常に関心を注ぎ続けていただきたいと思います。それは、たとえば、人びとと現実の多様性に心を開くということです。歴史と文化を異にする様々な世界のあり方に目を向け、対話と理解を続けようとすることです。そしてまた、おたがいの共感と配慮のうえに、それぞれのやり方で考え、意見を述べ、誠実かつ真摯に議論を積み重ねていくということです。

このため社会学部は特定の得意科目にとどまらず、自然科学も含めて幅広く様々な科目に積極的に取り組もうとする姿勢をもった学生を歓迎します。もちろん、ある科目が得意でとくにそれを詳しく学びたいという学生を拒むわけではありません。ただ、大学で学問を深めるには他分野への関心も含めた視野の広さが不可欠です。特定の科目に自信があり、大学で勉強したい分野がはっきりしている人も、その学びを深めるための土台として広範な知識と関心が必要だということを理解して欲しいと思います。また、大学で何を学ぶのかをこれから模索しようとする学生も社会学部は歓迎します。試行錯誤しながら自分の関心を次第に研ぎ澄ましていこうとする学生をサポートするカリキュラムを私たちは提供しています。

2 学部・学科

商学部	経営学科・商学科
経済学部	経済学科
法学部	法律学科
社会学部	社会学科

3 入学定員

学 部	学 科	入学定員	募集人員		
			前期日程 (注1)	後期日程	学校推薦型選抜 (注2)
商 学 部	経営学科 商 学 科	275人 (注3)	260人	—	15人
経済学部	経済学科	275人	200人	60人	15人
法 学 部	法律学科	170人 (注4・5)	160人	—	10人
社会学部	社会学科	235人	225人	—	10人
総 計		955人	845人	60人	50人

[募集人員]

(注1) 前期日程の募集人員には、各学部とも外国学校出身者選抜（5人以内）を含みます。

(注2) 学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注3) 商学部は、学科を区別せず一括して募集し、第3学年進学時に配属します。

(注4) 法学部生は、法学コース・国際関係コース・法曹コースのいずれかのコースに属します。法学コース及び国際関係コースは、第3学年進学時に選択登録します。法曹コースは、原則として第2学年進学時に登録申請をし、第1学年次の成績による審査を経て登録可能となります。

(注5) 法曹コースは、一橋大学法科大学院と連携し、人権・国際・ビジネスに強い法曹養成のための一貫教育を行うものです。法曹コースに登録し、一定の成績要件を充足した学生については、法律科目の論述式試験が免除された一橋大学法科大学院の特別選抜試験を受験することや、早期卒業制度により法学部を3年間で卒業し、最短5年で法科大学院まで修了することが可能となります（ただし、コース選択は3年間での法学部卒業及び法科大学院への入学を確約するものではありません）。

(注6) 各学部とも入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格の決定を行うことがあります。

[併願等]

(注7) 入学志願者は、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期日程－後期日程」の併願はできませんが、「前期日程－前期日程」、「後期日程－後期日程」の併願はできません。

(注8) 本学の学部間、また同一学部における学校推薦型選抜と前期日程と後期日程（経済学部のみ）の併願は行うことができます。

4 出願資格

令和4（2022）年度大学入学共通テストのうち本学（学部）が指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次に掲げる項目のいずれかに該当するもの（本学では、大学入学共通テストの前年度の成績は利用しないので、令和4（2022）年度大学入学共通テストを必ず受験すること。）

- 1 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）又は中等教育学校を卒業した者及び令和4（2022）年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4（2022）年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4（2022）年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）上記3に該当する者は、次のとおりです。（詳細については入試課までお問い合わせください。）

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号—大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定—）
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、令和4（2022）年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査（*）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4（2022）年3月31日までに18歳に達するもの
- （*）本学で行う「個別の入学資格審査」は、令和3（2021）年9月10日（金）（必着）まで申請を受け付けます。

ただし、大学入学共通テストを令和4（2022）年1月15日（土）、1月16日（日）に受験した者で、新たに本学の受験を希望する場合は、令和4（2022）年1月21日（金）（必着）まで受け付けます。

詳細は、本学ウェブサイト「一橋大学で学びたい方へ」（<https://www.hit-u.ac.jp/admission/index.html>）をご参照ください。

5 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合、その内容によっては、本学が対応を決定するまでに時間を要することがあります。本学への出願を考えている場合には、大学入学共通テストを令和4（2022）年1月15日（土）、1月16日（日）に受験した者は令和4（2022）年1月17日（月）（消印有効）までに入試課に(1)による事前相談の申請をしてください。

なお、事前相談の内容等で心配な場合は、上記〆切よりも早めにご相談ください。

（申請が遅くなると、希望する配慮への対応が間に合わないこともあります）。

事前相談の申請をした場合であっても、本学への出願が義務付けられるわけではありません。出願する、しないが未定であっても申請はできます。

また、やむを得ない理由により期日を過ぎて申請を行う場合には、申請前に電話等でご連絡ください。申請の時期によっては、以下の(2)書式例における「11 入学後配慮を希望する事項」への対応は合格者発表後に検討することになり、合格者発表前には本学の措置内容を通知できない旨、ご注意ください。

(1) 事前相談の方法

事前相談の申請は、(2)の書式例により「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に入試課に確認してください。

(2) 書式例（※A4判で作成のこと。）

様式は本学ウェブサイト（https://www.hit-u.ac.jp/admission/application/syosiki_rei2.docx）からダウンロード可能です。

年度入学試験に係る事前相談について

年 月 日

一橋大学入学者選抜実施専門委員会委員長 殿

受験に際し配慮を希望する事項及び入学後配慮を希望する事項について事前に相談
したく、診断書等を添付の上で申し出ます。

(ふりがな)

- 1 氏 名 印
- 2 生年月日 年 月 日 (性別:)
- 3 住 所 (〒))
- 4 電話番号 ())
- 5 メールアドレス

※ 合格者発表後(3月中旬～下旬)も連絡のとれるアドレスをご記入ください。

- 6 出身学校 (年 月 日 卒業・卒業見込み)
- 7 試験日程等 前期日程 ・ 後期日程 ・ 学校推薦型選抜
外国学校出身者選抜・私費外国人留学生選抜
- 8 志望学部 商 ・ 経済 ・ 法 ・ 社会 学部
- 9 障害の種類・程度
- 10 受験に際し配慮を希望する事項
- 11 入学後配慮を希望する事項
- 12 出身校における修学上の措置
- 13 添付書類

① 医師の診断書(原本)

※ ただし②の添付があり、同等の配慮を希望する場合は写しでも可

- ② 大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)(大学入試センターに申請し通知書が手元にある場合)
- ③ 身体障害者手帳(写)
- ④ その他相談する際に必要と考えられる参考資料

6 入学者選抜方法等

(1) 一般選抜

選抜方法等		第2次試験									第2次試験 の日程	備考 〔欠員の 補充方法等〕		
		実技検査等					2段階選抜							
		第2次 試験を 課する	実技検査 を課する	面接を 行う	小論文を 課する	外国語に おけるリス ニングテ ストを 課する	第1段階の選抜 による合格者数		募集人員に 対する倍率	その 他				
主として、調査書 の内容と大学入学 共通テストの成績 により第1段階選 抜を行い、その合 格者について更に 必要な検査を行 う														
日程・学部・学科名														
前 期 日 程	商学部	経営学科	○	×	×	×	○	○	学部別に約3倍	×	令和4年 (2022年) 2月25日 (金) 2月26日 (土)	欠員が生じた場 合は、追加合格 者の決定を行う ことがある。		
		商学科												
	経済学部	経済学科												
	法学部	法律学科												
	社会学部	社会学科												
後 期 日 程	商学部	経営学科	実施しない									—	—	
		商学科												
	経済学部	経済学科	○	×	×	×	×	○	約6倍	×	令和4年 (2022年) 3月12日 (土)	欠員が生じた場 合は、追加合格 者の決定を行う ことがある。		
	法学部	法律学科	実施しない									—	—	
	社会学部	社会学科												

(2) 学校推薦型選抜等

選抜方法等		学校推薦型選抜							専門 高校・ 総合学 科卒業 生入試	アド ミッシ ョン・ オフィス 入試	外国学校出身者、 社会人等のための 特別選抜				備 考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する									学校推薦 型選抜 募集人員	外国 学校 出身 者	外国 人 留 学 生	中国 引 揚 者 等 子 女		社 会 人
		第2次 試験を 免除し、 大学入 学共通 テスト を免除 する	第2次 試験及 び大学 入学共 通テス トを免 除する	実技検査等				その他								
実技検査 を課する	面接を 行う			小論文を 課する	外国語に おけるリス ニングテ ストを 課する											
学部・学科名																
商学部	経営学科	○	×	×	○	○	×	×	15	実施しない	○	○	実施しない			
	商学科															
経済学部	経済学科								15							
法学部	法律学科								10							
社会学部	社会学科	10														

7 今年度以降の入学選抜に係る予告事項

令和4（2022）年度の入学選抜について

本学では、令和3（2021）年度に実施する令和4（2022）年度入試の一般選抜（前期日程）の「地理歴史等」を「地理歴史」と変更し、「倫理，政治・経済」，ビジネス基礎の2科目を出題しないことといたします。なお，世界史B，日本史B，地理Bについては，従来どおり出題いたします。

8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

【重要】

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、本要項に記載されている「一般選抜」及び各特別選抜の試験期日や試験実施上の配慮を変更することがあります。

変更することを決定した場合は、直ちに本学ウェブサイトに掲載しますので、必ず確認してください。

(1) 試験期日

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、次のとおり追試験を実施します。

なお、詳細については各募集要項や本学ウェブサイト等を確認してください。

① 一般選抜（前期日程試験）

【本試験】令和4（2022）年2月25日（金），26日（土）

【追試験】令和4（2022）年3月22日（火），23日（水）

一般選抜（後期日程試験）

【本試験】令和4（2022）年3月12日（土）

【追試験】令和4（2022）年3月22日（火）

② 学校推薦型選抜

【第2次試験】令和4（2022）年2月10日（木）

【追試験】令和4（2022）年2月19日（土）

③ 外国学校出身者選抜

【第1次選抜】令和4（2022）年2月26日（土）

【第2次選抜】令和4（2022）年3月4日（金）

【追試験】令和4（2022）年3月22日（火）

④ 私費外国人留学生選抜

【本学学力試験】令和4（2022）年1月31日（月）

【追試験】令和4（2022）年2月19日（土）

(2) 試験実施上の配慮

① 学校推薦型選抜

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その成績として調査書等に記載できない場合において、そのことをもって入学志願者が不利益を被ることがないようにします。

この場合は、資格・検定試験等の結果を提出できない理由及び成果獲得に向けた努力のプロセスについて記載した書類が必要となります。

また、中止・延期となった資格・検定試験のうち、語学検定試験に関するもの（独検、仏検、中検等）に該当する場合は、面接試験において語学力を確認します。

手続方法等の詳細については、募集要項や本学ウェブサイト等を確認してください。

② 外国学校出身者選抜

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その成績として調査書等に記載できない場合において、そのことをもって入学志願者が不利益を被ることがないようにします。

この場合は、資格・検定試験等の結果を提出できない理由及び成果獲得に向けた努力のプロセスについて記載した書類が必要となります。

手続方法等の詳細については、募集要項や本学ウェブサイト等を確認してください。

③ 私費外国人留学生選抜

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その成績として調査書等に記載できない場合において、そのことをもって入学志願者が不利益を被ることがないようにします。

この場合は、資格・検定試験等の結果を提出できない理由及び成果獲得に向けた努力のプロセスについて記載した書類が必要となります。

手続方法等の詳細については、募集要項や本学ウェブサイト等を確認してください。

- 選抜方法等について、新型コロナウイルス感染症の影響により日本留学試験を受験できなかった入学志願者がいることを想定し、本学学力試験にて、日本語以外に、日本留学試験に相当する試験を実施する予定です。

試験科目や配点等の詳細については、募集要項や本学ウェブサイト等を確認してください。

前 期 日 程

9-1 入学者選抜の実施教科・科目等について（前期日程）

学部・学科名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの科目等		第2次試験		大学入学共通テスト・第2次試験の配点等					特別の選抜方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科		外国語	配点 合計
商学部 入学定員 275人 募集人員 前期 255人 その他 5人以内	経済学科 商学科	国	世B、日B、地理B 「倫理、政治・経済」から2	国	国語総合	共通テスト	50	50	50	50	50	250	外国学校 出身者選 抜
		地理 公民			教 I・教II・教A(全範囲) 教B(数列、ベクトル)	第2次試験	125	125	250	—	250	750	
経済学部 入学定員 275人 募集人員 前期 195人 その他 5人以内	経済学科	教	「教I・教A」と 「教II・教B」、簿、情報 から1	外	英(コミュニケーション英語 I, コミュニケーション英語 II, コミュニケーション英語 III, 英語表現I, 英語表現II) (聞き取り・書き取り試験を行 います。)	共通テスト	40	40	40	50	40	210	外国学校 出身者選 抜
		理	① ②	物基, 化基, 生基, 地学基から2 又は 物, 化, 生, 地学から1		計	150	200	300	50	300	1,000	
法学部 入学定員 170人 募集人員 前期 155人 その他 5人以内	法律学科	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (英語は, リスニングを含 みます。)	地歴	世B, 日B, 地理Bから1	共通テスト	50	70	50	50	50	270	私費外国 人留学生 選抜
			① ②	物基, 化基, 生基, 地学基から2 又は 物, 化, 生, 地学から1		計	110	160	250	—	260	790	
社会学部 入学定員 235人 募集人員 前期 220人 その他 5人以内	社会学科	外	(5～6教科7～8科目)			共通テスト	90	20	20	100	20	180	学校推薦 型選抜
						計	180	230	130	—	280	820	
						計	200	250	150	100	300	1,000	

【学部・学科名及び入学定員等】欄

○ ()は令和3(2021)年度志願倍率を示します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

○ 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了(見込み)者に限ります。

○ 理科については、「基礎を付した科目」(理科グループ①)(理科グループ②)から1科目を選択します。

○ 「基礎を付した科目」の2科目と「基礎を付していない科目」の1科目を受験した場合は、点数の高い方を用いて選抜を行います。

○ 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目(前半に受験した科目)の成績を用います。

【第2次試験】欄

○ 教字Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

○ 外国語は、第2次試験では「英語」に読み替えます。

【2段階選抜】欄

○ 第1段階の選抜方法は、大学入学共通テストの5～6教科7～8科目の得点を合計したもの(素点。ただし英語はリーディング・リスニングの素点を合計した200点満点。)

を受験者の成績とし、学部別に高得点順に一定数(募集人員の約3倍)を合格者とします。

※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

9-2 入学者選抜日程等について（前期日程）

(1) 出願期間

2022年1月24日（月）～2022年2月4日（金）

(2) 第1段階選抜合格者発表日

2022年2月9日（水）

(3) 試験日程

2022年2月25日（金）・26日（土）

(4) 合格者発表日

2022年3月10日（木）

※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

後 期 日 程

10-1 入学者選抜の実施教科・科目等について（後期日程）

学部・学科名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程		大学入学共通テストの科目名		第2次試験		大学入学共通テスト・第2次試験の配点等					特別の選抜方法等			
	経済学科 入学定員 募集人員 後期 60人	国	国	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学		理科	外国語	配点 合計
		国	国	世B, 日B, 地理B 「倫理, 政治・経済」 から1	数	教I・教II・教III・教A (全範囲)・教B(教列, ベクトル)(なお,「教 III」を学習していない受験 者が不利にならないよう に, 選択問題を用いる等の 十分な配慮をします。)		共通テスト	40	40	40	40	40	200	
		教	教	「教I・教A」と 「教II・教B」, 簿, 情報 から1	外	英(コミュニケーション英 語I, コミュニケーション 英語II, コミュニケーショ ン英語III, 英語表現I, 英 語表現II) (聞き取り・書き取り試験 は行いません。)	約6倍								
		理	理	物基, 化基, 生基, 地学基から2 又は 物, 化, 生, 地学から1				計	40		440	40	440	1,000	
		外	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (英語は, リスニングを含み ます。)											
				(5教科6~7科目)											

【学部・学科名及び入学定員等】欄

○ ()は令和3(2021)年度志願倍率を示します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

○ 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了(見込み)者に限ります。

○ 理科については, 「基礎を付した科目」(理科グループ①)から2科目を選択するか, 「基礎を付していない科目」(理科グループ②)から1科目を選択します。

○ 「基礎を付した科目」の2科目と「基礎を付していない科目」の1科目を受験した場合は, 点数の高い方を用いて選抜を行います。

○ 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は, 第1解答科目(前半に受験した科目)の成績を用います。

○ 地理歴史・公民を2科目受験している場合は, 第1解答科目(前半に受験した科目)の成績を用います。

【第2次試験】欄

○ 数学Bは「教列, ベクトル」を出題範囲とします。

○ なお, 「教III」を学習していない受験者が不利にならないように, 選択問題を用いる等の十分な配慮をします。

○ 外国語は, 第2次試験では「英語」に読み替えます。

【2段階選抜】欄

○ 第1段階の選抜方法は, 大学入学共通テストの本学(学部)が指定する教科・科目の得点を合計したものの(素点。ただし英語はリーディング・リスニングの素点を合計した200点満点。)を受験者の成績とし, 高得点順に一定数(募集人員の約6倍)を合格者としてします。

※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した入志願者への追試験に関しては, 「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

10-2 入学者選抜日程等について(後期日程)

(1) 出願期間

2022年1月24日(月)～2022年2月4日(金)

(2) 第1段階選抜合格者発表日

2022年2月28日(月)

(3) 試験日程

2022年3月12日(土)

(4) 合格者発表日

2022年3月22日(火)

※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

11 学校推薦型選抜

(1) 商学部 経営学科・商学科

○ 募集人員 15人

○ 出願資格

(a) 令和4(2022)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4(2022)年3月卒業見込みの者

② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○ 出願要件

次の(A)～(G)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア(iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。

※ TOEFL iBT Special Home Editionによるスコアは、本学受験のための利用を認めません。

※ TOEFL iBTのMy Best Scoreは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者*

* 第30回(2020年1月)は6点取得

第29回(2019年1月)は4点取得

第28回(2018年1月)は6点取得

第27回以前の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に確認すること。

オンラインで実施された第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の受験者については、出願期間前に、以下の書類に基づいて出願要件を審査します。審査をご希望の方は、令和3(2021)年11月26日(金)までに、本学入試課にお問い合わせいただき、申請様式等を入手してください。

・第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の結果通知の写し

※4点以上を取得していることを、出願要件の最低基準とします。

・第31回日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書

(F) 応用情報技術者試験（旧ソフトウェア開発技術者試験）に合格している。

(G) 日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級を取得している。

○ 選抜方法等

・ 第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和4（2022）年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・ 第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○ 大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50	/	/	/	/	250
第2次試験	/	/	/	/	/	/	300	150	40	10	500

出願期間 2022年1月24日（月）～2月4日（金）

選抜期日 第2次試験 2022年2月10日（木）

合格者発表日 第1段階選抜 2022年2月8日（火）

第2次試験 2022年2月14日（月）

○ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

(2) 経済学部 経済学科

○ 募集人員 15人

○ 出願資格

(a) 令和4(2022)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4(2022)年3月卒業見込みの者

② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○ 出願要件

次の(A)～(E)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア(iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。

※ TOEFL iBT Special Home Editionによるスコアは、本学受験のための利用を認めません。

※ TOEFL iBTのMy Best Scoreは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者*

* 第30回(2020年1月)は7点取得

第29回(2019年1月)は4点取得

第28回(2018年1月)は6点取得

第27回以前の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に確認すること。

オンラインで実施された第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の受験者については、出願期間前に、以下の書類に基づいて出願要件を審査します。審査をご希望の方は、令和3(2021)年11月26日(金)までに、本学入試課にお問い合わせいただき、申請様式等を入手してください。

・第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の結果通知の写し

※4点以上を取得していることを、出願要件の最低基準とします。

・第31回日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書

○ 選抜方法等

・ 第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和4（2022）年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・ 第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○ 大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50					250
第2次試験							300	150	40	10	500

出願期間 2022年1月24日（月）～2月4日（金）

選抜期日 第2次試験 2022年2月10日（木）

合格者発表日 第1段階選抜 2022年2月8日（火）

第2次試験 2022年2月14日（月）

○ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

(3) 法学部 法律学科

○ 募集人員 10人

○ 出願資格

(a) 令和4(2022)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4(2022)年3月卒業見込みの者

② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○ 出願要件

次の(A)～(E)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア(iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。

※ TOEFL iBT Special Home Editionによるスコアは、本学受験のための利用を認めません。

※ TOEFL iBTのMy Best Scoreは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者*

* 第30回(2020年1月)は7点取得

第29回(2019年1月)は4点取得

第28回(2018年1月)は6点取得

第27回以前の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に確認すること。

オンラインで実施された第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の受験者については、出願期間前に、以下の書類に基づいて出願要件を審査します。審査をご希望の方は、令和3(2021)年11月26日(金)までに、本学入試課にお問い合わせいただき、申請様式等を入手してください。

・第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の結果通知の写し

※4点以上を取得していることを、出願要件の最低基準とします。

・第31回日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書

○ 選抜方法等

・ 第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和4（2022）年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位170位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位170位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・ 第2次試験

小論文、推薦書・調査書等の提出書類の内容をふまえた面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○ 大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50					250
第2次試験							300	150	40	10	500

出願期間 2022年1月24日（月）～2月4日（金）

選抜期日 第2次試験 2022年2月10日（木）

合格者発表日 第1段階選抜 2022年2月8日（火）

第2次試験 2022年2月14日（月）

○ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

(4) 社会学部 社会学科

○ 募集人員 10人

○ 出願資格

(a) 令和4(2022)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4(2022)年3月卒業見込みの者

② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○ 出願要件

次の(A)～(F)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア((iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上)又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。

※ TOEFL iBT Special Home Editionによるスコアは、本学受験のための利用を認めません。

※ TOEFL iBTのMy Best Scoreは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者*

* 第30回(2020年1月)は6点取得

第29回(2019年1月)は4点取得

第28回(2018年1月)は5点取得

第27回以前の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に確認すること。

オンラインで実施された第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の受験者については、出願期間前に、以下の書類に基づいて出願要件を審査します。審査をご希望の方は、令和3(2021)年11月26日(金)までに、本学入試課にお問い合わせいただき、申請様式等を入手してください。

・第31回(令和3年1月)日本数学オリンピック予選の結果通知の写し

※4点以上を取得していることを、出願要件の最低基準とします。

・第31回日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書

(F) 応用情報技術者試験(旧ソフトウェア開発技術者試験)に合格している。

○ 選抜方法等

・ 第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和4（2022）年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位235位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位235位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・ 第2次試験

小論文、推薦書・調査書等の提出書類の内容をふまえた面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○ 大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50	/	/	/	/	250
第2次試験	/	/	/	/	/	/	300	150	40	10	500

出願期間 2022年1月24日（月）～2月4日（金）

選抜期日 第2次試験 2022年2月10日（木）

合格者発表日 第1段階選抜 2022年2月8日（火）

第2次試験 2022年2月14日（月）

○ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

別表

学部学校推薦型選抜に係る令和4（2022）年度大学入学共通テストの利用教科・科目名						
			第1欄		第2欄	
			本学部が一般選抜前期日程試験において指定する教科・科目		第1欄に該当しない者で本学部学校推薦型選抜に限り出願資格を認める場合に指定する教科・科目	
教科	グループ	出願科目	受験科目数		受験科目数	
国語		国語	◎	1	◎	1
地理歴史		世界史B 日本史B 地理B	○ ○ ○	2	○ ○ ○	1
公民		「倫理、政治・経済」	○		○	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	◎	1	◎	1
	②	「数学Ⅱ・数学B」 簿記・会計 情報関係基礎	○ ○ ○	1	○ ○ ○	1
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ※ ただし、簿記・会計、情報関係基礎を解答できる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者に限ります。 </div>						
理科	①	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	○ ○ ○ ○	} から 2 又は } から 1	/	
	②	物理 化学 生物 地学	○ ○ ○ ○			
外国語		英語（リスニングを含みます。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○	1	○ ○ ○ ○ ○	1

- ※1 ◎印は入学志願者全員が受験しなければならない科目を示し、○印は出願教科・科目区分欄ごとに受験科目数欄の数値だけ科目を選んで、受験しなければならないことを示します。
- ※2 第1欄の要件を満たさない入学志願者についてのみ、第2欄を適用します。したがって、「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した者は、理科グループ②（「基礎を付していない科目」）を2科目受験しても、第1欄が適用されます。
- ※3 第1欄適用者が理科グループ②を2科目受験したときは、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用います。第1欄適用者が理科グループ①（「基礎を付した科目」）の2科目と理科グループ②の1科目を受験した場合は、得点の高い方の成績を用います。
- ※4 英語の得点は、リーディング・リスニングの素点を合計した200点満点とします。

12 外国学校出身者選抜

(1) 実施学部・学科名

商 学 部	経営学科・商学科
経済学部	経済学科
法 学 部	法律学科
社会学部	社会学科

(2) 募集人員

各学部5人以内

(3) 出願要件

次の①～③の要件をすべて満たす者

① 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を取得している者で、次のア～カのいずれかに該当するもの

ア 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和3（2021）年4月1日から令和4（2022）年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和3（2021）年度に授与された者

ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和3（2021）年度に授与された者

エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和3（2021）年度に授与された者

オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Advanced Level）資格を令和3（2021）年度に授与された者

カ 外国においてアメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和3（2021）年度に卒業（修了）した者

※ オについては、出願書類として以下の受験結果を証明する書類を提出できること。

① GCE Advanced Level 3科目、又は

② GCE Advanced Level 2科目とGCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目、のいずれかの受験結果

ただし、受験結果は評価E以上のものに限る。

- ② 外国の高等学校相当の学校において、最終学年を含めて2学年（各学年期の始業月から終業月まで）以上継続して在学した者及び在学見込みの者（飛び級等を含みません。）で当該学年の必要な単位を修得し課程を修了した者及び修了見込みのもの。

ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校並びに日本国内のインターナショナルスクール及びアメリカンスクールなどに在学した期間は含まれません。

- ③ 渡航の開始が保護者の海外勤務等のやむを得ない事情によるものであること。

（ただし、個人の事由で留学している場合であっても、平成18（2006）年10月1日以前から留学している場合は、この限りではありません。）

(4) 選抜方法等

○ 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、第1次選抜と第2次選抜に分けて実施します。

- ① 第1次選抜は、学力試験及び出願書類により行います。
 ② 第2次選抜は、第1次選抜合格者に対する面接及び上記①の学力試験等の成績を総合して行います。

○ 学力試験の教科・科目

① 外国語

英語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ）（聞き取り・書き取り試験を行います。）

② 小論文

社会・文化に関する論文又は資料等を示して理解力・判断力・表現力などをみます。

○ 配点

	外国語	小論文	面接	合計
第1次選抜	100	100	—	200
第2次選抜	100	100	100	300

出願期間		2021年11月26日（金）～12月2日（木）（必着）
選抜期日	第1次選抜	2022年2月26日（土）
	第2次選抜	2022年3月4日（金）
合格者発表日	第1次選抜	2022年3月2日（水）
	第2次選抜	2022年3月10日（木）

(5) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

13 私費外国人留学生選抜

(1) 実施学部・学科名

商学部	経営学科・商学科
経済学部	経済学科
法学部	法律学科
社会学部	社会学科

(2) 募集人員

各学部若干名

(3) 出願要件

次の①及び②の要件をすべて満たす者

① 日本国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者で、次のア～カのいずれかに該当するもの

ア 外国において学校教育における12年の課程を令和4（2022）年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」合格者で、令和4（2022）年3月31日までに18歳に達する者等が該当します。）

なお、「学校教育における12年の課程」とは、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであり、修了により当該国の大学への受験資格を得られることを要します。

イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和3（2021）年度までに授与された者

ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和3（2021）年度までに授与された者

エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和3（2021）年度までに授与された者

オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Advanced Level）資格を令和3（2021）年度までに授与された者

カ 外国においてアメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和3（2021）年度までに卒業（修了）した者

- ※ ここでいう「外国において」とは、「地理的に外国において」ということを指します。
 - ※ 日本の小学校・中学校・高等学校に在学していたことがある者は、その期間が4年以内であれば、この要件に該当するものとします。ただし、この場合においても、高等学校の在学期間は1年以内とします。
 - ※ オについては、出願書類として以下の受験結果を証明する書類を提出できること。
 - a. GCE Advanced Level 3科目,又は
 - b. GCE Advanced Level 2科目とGCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目, のいずれかの受験結果ただし、受験結果は評価E以上のものに限りませう。
- ② TOEFL (iBT, PBT) (2020年2月2日から2021年10月31日までに実施したものに限る。)を受験しており、以下の基準スコア以上の成績を修め、その成績証明書等(「Institutional Score Report原本(ETS事務局から一橋大学(DI Code : 0436)へ直送する手続きが必要)」及び「View Score又は、Test Taker Score Reportを印刷したもの」の両方)を提出できる者
- ※ 基準スコア:TOEFL-iBT(48点), TOEFL-PBT・TOEFL ITP Plus for China(460点)
 - ※ TOEFL iBT Special Home Edition **及び TOEFL iBT Home Edition**によるスコアは、本学受験のための利用を認める。
 - ※ TOEFL iBT の My Best Score は、本学受験のための利用を認めない。
 - ※ TOEFL ITP Plus for China**及び TOEFL ITP Plus for China Solution**によるスコアは、本学受験のための利用を認める。

(4) 選抜方法等

○ 選抜方法

学力試験〔日本語（※）、日本留学試験相当〕の成績及び提出書類等により総合的に判断して行います。

※ 日本語は、社会・文化に関する論文等を示して、日本語の作文力、読解力などをみます。

○ TOEFL, 本学学力試験（日本語、日本留学試験相当）の配点

区分	科目	満点	配点	
英語	TOEFL (iBT)	120	420	
本学学力試験	日本語	116	880	
	日本留学試験相当	総合科目	200	400
		数学コース1	200	300
		合計	400	700
合計			2,000	

※ TOEFL(PBT), TOEFL ITP Plus for ChinaはETSの換算表によりiBTに換算する。

※ 選抜方法について、新型コロナウイルス感染症の影響により日本留学試験を受験できなかった入学志願者がいることを想定し、本学学力試験にて、日本語以外に、日本留学試験に相当する試験を実施する予定です。

試験科目や配点等の詳細については、募集要項や本学ウェブサイト等を確認してください。

出願期間	2021年12月13日（月）～2022年1月4日（火）（必着）
選抜期日	本学学力試験 2022年1月31日（月）
合格者発表日	2022年2月28日（月）

(5) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への追試験に関しては、「8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」を確認してください。

14 学生募集要項について

(1) 募集要項の公表

出願手続，入試方法等を記載した各募集要項の公表時期は，次のとおりです。

- | | |
|------------------|------------|
| ○ 一般選抜募集要項 | 2021年10月下旬 |
| ○ 学校推薦型選抜募集要項 | 2021年9月下旬 |
| ○ 外国学校出身者選抜募集要項 | 2021年9月下旬 |
| ○ 私費外国人留学生選抜募集要項 | 2021年9月下旬 |

インターネット出願による出願方法の詳細については，各募集要項をご覧ください。

各募集要項は，本学ウェブサイト (<https://www.hit-u.ac.jp/admission/form/index.html>) 上にPDFファイルをアップロードする形で公表し，冊子の作成・配布はいたしません。

(2) 大学案内の請求方法

本学ウェブサイト (<https://www.hit-u.ac.jp/admission/request/index.html>) 上でご確認ください。

入学試験に関する問い合わせ先

〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地

一橋大学 学務部 入試課

電話 042-580-8150 FAX 042-580-8158

e-mail: adm-inq@ad.hit-u.ac.jp

9時00分～17時00分（土・日曜日、祝日、年末年始は除く。）

問い合わせは、**必ず入学志願者本人**が行ってください。

また、可否に関する問い合わせには応じられません。